



ふねあいのひろば

第13号



10月9日～13日 岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結40周年記念「サンノゼ市民親善訪日団・歓迎レセプション」



市民レベルの国際交流を目指して!!

会長 小坂 淳 夫

会員の皆様方におかれましては、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は姉妹都市サンノゼ市（米国カリフォルニア州）と姉妹都市縁組を締結し40周年という記念すべき年にあたりました。昭和32年に行われたサンノゼ市との姉妹都市締結は、全国で3番目の縁組であり、画期的な取り組みでありました。以来、交換留学生の相互派遣事業、各種訪問団の相互訪問、専門家の相互派遣等数々の事業を行い、岡山市の姉妹都市交流の歴史の中で大きなウエイトをもってまいりました。この40周年を記念した「岡山市民親善訪米団」の一行をはじめとする85名が訪米し、市民レベルの交流を深めてまいりました。さらに、サンノゼ日系祭への伝統工芸家の派遣、サンノゼ日本友情庭園改修資金の贈呈、サンノゼ州立大学への日本図書寄贈、岡山市少年サッカー親善訪米団の派遣等を行いました。また、サンノゼ市側からは、「サンノゼ市民親善訪日団」一行26名が来岡し、市民レベルでの交流を深めるとともに、日本文化の体験や築城400年記念イベントへ参加いただいたところであります。

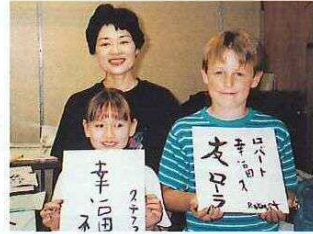
新しく迎えた平成10年度は、サンホセ市との姉妹都市締結30周年にあたり、サンホセ市で計画の日本友情庭園建設に対する募金運動の展開をはじめ、各種の記念事業を通じて、新たな交流が芽生えるものと確信をいたしております。

近年、国際社会の政治経済の変動の中で、世界各国は大きな影響を受けております。わが国もその例外ではなく、内外の大きな責任、期待を担いながら、21世紀に向けて大胆な変革と改革を迫られております。そのような中、今後とも英知を結集し創意・工夫により国際化事業の積極的な推進を図ってまいりたいと思っておりますので、会員の皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

祝 岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結40周年

5月3日～8日

岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結40周年記念
『伝統工芸家：杉谷妙子氏<書道>、ビル・グリズワルド氏
<竹細工・盆栽>』を、サンノゼ日祭へ派遣。



5月8日～16日 岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結40周年記念『岡山市民親善訪米団』派遣

サンノゼ市との姉妹都市締結40周年を記念して、安宅敬祐岡山市長を団長とする岡山市民親善訪米団が5月8日から9日間、サンノゼ市、ペンドルトン市、バンクーバー市の3都市を訪問しました。一行は5月8日から5月11日まで、サンノゼ市に滞在し、現地で岡山商工会議所「国際親善・経済視察訪米団」と合流し、サンノゼ市都市再開発に関する概要説明、サンノゼ州立大学へ日本図書の寄贈、日系老人ホームへのフレンドリービジット、ローズガーデンでの記念式典、日本友情庭園の募金贈呈式への参加等、各種記念行事に参加し、交流を深めました。



◀岡山市民親善訪米団出発
林原駐車場において花岡薫岡山市議会議長の激励を受け、団員一同、期待に胸を膨らませ元気に出発。



◀サンノゼ、スーザン・ハマー市長を表敬訪問
市役所を訪問し安宅市長が英語で挨拶、ハマー市長と記念品の交換を行い、両市の職員相互派遣制度の覚書に両市長が調印。



◀日系老人ホーム等(フジタワー、友愛会)をフレンドリービジット
ボランティアの活動により支えられている日系老人ホーム等を訪問し、湯茶の接待や民謡の披露等をしていただく。

サンノゼ州立大学へ
日本図書寄贈

岡山市から延べ65名の交換学生を受入れていただいたサンノゼ州立大学へ日本図書216冊と交換学生のエッセイ集を寄贈。



◀パシフィック・ネイバース主催歓迎会

コヨーテ牧場(観光牧場)でパシフィック・ネイバース主催の心温まるアウトドアの歓迎会に出席。



◀ローズ・ガーデン記念式典
40年前の昭和32年に、両市の姉妹都市縁組の式典が盛大に執り行なわれたローズ・ガーデンで姉妹都市40周年を祝う記念式典が行われた。



◀ホームビジット
ローズ・ガーデン記念式典の後、ローズ・ガーデン愛護協会の会員の各家庭にホームビジット。



◀元交換学生の同窓会
団員の元交換学生とサンノゼからの元交換学生を中心に、ホームステイ家族、当時の友人が集まり、交換学生制度33年の歴史を振り返った。

日本友情庭園訪問⇒
西大寺会陽太鼓が華麗で勇壮な太鼓を演奏をするなか、市民の募金による日本友情庭園改修の寄付金をサンノゼ側に手渡した。



◀パンフィック・ネイバース40周年記念晩餐会
サンノゼ・フェアモント・ホテルで行われた記念晩餐会は出席者が300人規模の盛大なもので、数々の各姉妹都市のアトラクションが披露され、訪米団員も『上を向いて歩こう』を合唱し、参加者から大喝采を受ける。

岡山市民親善訪米団へ参加して

岡山市・サンノゼ市姉妹都市

委員長 国富比左子



サンノゼ市との姉妹都市締結40周年の岡山市民親善訪米団には、大変多くの皆様にご参加いただきまして

本当にありがとうございました。訪問したサンノゼ市、オレゴン州ベンドルトン市、そしてカナダのバンクーバー市は、街の趣はそれぞれに異なっていましたが、3市とも魅力いっぱいの都市でした。

今回のサンノゼ訪問のハイライトは、40年前に姉妹都市締結式典が行われたローズ・ガーデンでの40周年記念式典でした。会場には懐かしい顔が揃いました。サンノゼ側の締結の立て役者となった当時のロバート・ドーア市長、交換学生の生みの親・育ての親となったウェード・ホーパー氏夫妻、ジャッジ・カネモト氏夫妻など。岡山からは団長の安宅市長をはじめ、初期の交流の礎を築いた中島保氏夫妻、サンノゼが第二の故郷になった交換学生も10名……。40年の歴史を共に振り返り、感慨深く、心温まる式典になりました。

またボランティア施設の訪問、ローズ・ガーデン協会のお宅へのホーム・ビジットを通して、アメリカ人の一人一人が自分達の住んでいる地域は、自分達の創意でよくしていくのだという草の根レベルの意気込みが感じられ、本当に感銘を受けました。

岡山からの交換学生が青春の1ページを刻んだサンノゼ州立大学を訪問し、日本理解に役立つ図書の寄贈をしました。後楽園を模したサンノゼ友情庭園をこの機会に大改修をというサンノゼ側の要望に応じて、多くの市民の方々から寄せられた改修募金の贈呈もしました。団員の皆様には密度の高いスケジュールをこなしていただき大変感謝申し上げます。

オレゴン州ベンドルトン市のウマティラ連合保護区の訪問では、アメリカが国家として成立するはるか以前から、自然と共生しているアメリカ先住民の文化に触れることができました。彼等が歌や祈りを通して神から与えられている万物に感謝する儀式に参加させてもらい、本当に心を揺さぶられ、自らの生きざまを顧みる機会を与えられました。

サンノゼでもベンドルトンでも、私達団員に数多くの心に残る出会いや学びの場を提供して下さった陰には、多くの方々の善意と時間をかけた周到な準備があったに違いありません。この場をお借りして関係者の皆様方に心からお礼を申し上げます。

この度の記念事業によるサンノゼ訪問は、市民を中心として姉妹都市交流40年の歴史を総括するものであり、ボーダーレスな地球規模の交流が日常のものとなりつつある現在、民間と行政が協力しながら新たな両市の交流を目指すことがますます重要になってくると思います。

どうぞ今後とも皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

8月22日～28日

岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結40周年記念『岡山市少年サッカー親善訪米団（2チーム、36名）』がサンノゼ市で行われた国際ユース・サッカー大会へ出場。



10月11日

岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結40周年記念

まちづくり講演会

『都市再開発と空洞化対策－姉妹都市・サンノゼ市の経験に学ぶ－』

サンノゼ訪日団の受入れに合わせて、講師にサンノゼ市議会議員パトリシア・ダンドー氏をお迎えし、まちづくり講演会（於：岡山国際ホテル・瑞光の間）を開催。



10月9日～13日 岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結40周年記念『サンノゼ市民親善訪日団』の来岡

サンノゼ市との姉妹都市締結40周年を記念して、サンノゼ市民親善訪日団が10月9日から5日間、スーザン・ハマー・サンノゼ市長、デニス・キング・パシフィック・ネイバーズ会長など総勢26名が来岡しました。一行は、岡山市長表敬訪問、記念植樹、歓迎レセプション、備前焼体験、岡山城・後楽園の視察、座禅体験（曹源寺）、伝統凧展と凧づくり体験、倉敷美観地区・瀬戸大橋の訪問等、各種交流・記念行事に参加して交流を深めました。



↑岡山城・後楽園を視察、備前焼（おかやま備前焼工房）体験↑



↑記念植樹

市役所南側へ楷の樹の植樹を行った。

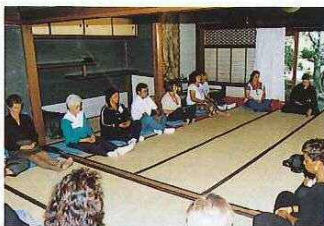
↓岡山市長表敬訪問



↑歓迎レセプション

協議会会員をはじめ、5月に訪米した訪米団員、関係者等、200名が集い一行の来岡を歓迎した。

岡山城築城400年記念事業・
伝統凧展見学・凧づくり体験・
岡山桃源まつりへ参加⇒



↑座禅体験（曹源寺）



↑倉敷美観地区・瀬戸大橋訪問↑



サンノゼから苗木40本到着

2月20日、姉妹都市締結40周年を記念し、サンノゼ市から贈られたカリフォルニア州木のセコイアメスギ（通称レッド・ウッド）の苗木10本とサンノゼ市花のオレー・ローズの苗木30本の計40本が到着しました。バラ30本の内3本は岡山市役所の南庭に植栽、残りは半田山植物園（岡山市三野）に植栽しました。レッド・ウッド10本は、現在同植物園に仮り植えています。



岡山市専門家 サンノゼ市へ派遣

岡山市とサンノゼ市との専門家交流事業により、岡山市在住の建築家、難波昭彦氏を3月6日から15日までの間派遣しました。難波氏は、都市再開発や住宅計画などに関する視察をしたほか、改修が予定されているサンノゼ日本友情庭園の視察等も行いました。



⇨右から2人目



⇨中央

「カリフォルニア（サンノゼ）での8日間 （パシフィック・ネイバースの皆さんと共に）」

難波 昭彦

3月6日金曜日の午前11時サンフランシスコ着ということで、出迎えのBob夫妻に月曜日まで公務はなし、今から日曜日いっぱいリラックスしろと言われたのを良いことに、いきなり夫妻に甘えて、サンノゼまで大平洋岸（Route①）をドライブ。今年はエルニーニョのせいで鯨も早く北へ帰ってしまったらしく、ホエールウォッチングはかないませんでした。途中、サンタクルーズの高級住宅街や世界で最古の木造ジェットコースターを見てサンノゼ入りしました。

土曜日は、モントレイで昔の缶詰工場群を再利用したショッピングモールや水族館（Canary row）、そして大平洋に面した高級別荘群を、日曜日はスタンフォード大学とその廻りの高級住宅地を案内してもらい、日本のスクラップ&ビルドとは違う、着実に建築の歴史を積み重ねていこうとしているアメリカの姿勢を痛感させられ、見せつけられた思いでした。

さて月曜日、今回訪米のメインテーマのJapanese Friendship Gardenで打合せ。メインゲートの建て替え案、菊花展等に使う組み立て式上屋とひな段の案、茶室の案、以上3つの案を日本へ帰って出す様、パシフィッ

クネイバース岡山担当のグロリアさんから依頼されました。グロリアさんと話をしていると、彼女のこの庭園と日本、岡山に対する思い入れがひしひしと感じられ思わず、Do my bestと言ってしまいました。ただ、これらの施設が全て寄付金と、ボランティアによって造られると聞いた時、岡山側からも、民間の支援が何とか出来ないものか、そうすれば、サンノゼと岡山の姉妹関係、米・日の友好関係がずっと深まるのではと思った次第です。

月曜日の午後からは、もう一つのテーマ、これは私が設定し要望したのですが、サンノゼのハウジングの現状、ハウジングにおけるNPO活動の現状、そして市中心部の再開発の現状、それらの考え方を知りたいということで、金曜日の午後、サンノゼを発つまで、2回のディナーパーティーも含めてびっしりとスケジュールを組んで下さり、案内して戴きました。日本でいう、市住公社の方、再開発公社の方、そして民間のNPO組織の方、お会いした全ての方達が、懇切丁寧にそれぞれのコンセプトを説明して下さい、また現場を案内して下さい、頭が下がると同時に、日本へ、岡山へ帰ったら頑張るぞという思いを強めた次第です。

今回、サンノゼ滞在中、毎日私に付き添って案内して下さいましたBob夫妻、そしてエレガントでやさしい、グロリアさん、お世話になったパシフィックネイバースの皆様様に感謝しますと共に、私を派遣して下さいました安宅市長はじめ岡山側のスタッフの皆様様に深く感謝致します。

サンホセとの交流

10月24日のサンホセ市新庁舎落成にあたり記念品としてホールクロックを寄贈。



岡山市・サンホセ市姉妹都市締結30周年を記念して、12月に桃太郎ブロンズ像を寄贈。

(写真は岡山駅2階にある同型の桃太郎像)



10月4日～11月24日、岡山城築城400年を記念し「コスタリカ友好交流展」が岡山市立オリエント美術館で開催され、両市の交流の歩みや、コスタリカの豊かな自然、コーヒーなどの農産物や民芸品等が資料や写真パネルで紹介されたほか、コスタリカから出土した貴重な黄金製品、ひすい製品、彩色土器などの展示が行われた。



ブルガリア大統領夫妻来岡



11月19日～20日、ブルガリア共和国ベータル・ストヤノフ大統領夫妻が、日本とブルガリア両国間の友好親善を目的に国賓として来日。大統領はプロブディフ市出身であることから、姉妹都市の岡山市を訪問された。



歓迎レセプションで挨拶をされる大統領



後楽園を視察される大統領夫妻

第8回洛陽市技術研修生帰国

岡山理科大学での研修を終えた、洛陽市技術研修生の3名の内の高峰氏と姚旭東氏が昨年11月11日に帰国されました。なお、張一氏は引き続き岡山に残り、私費留学生として同大学で研究を続けています。

高峰 (研修先：岡山理科大学工学部機械工学科)

さようなら岡山、第二の故郷。私は、岡山での思い出と岡山市民の友情の気持ちを洛陽市民に伝えたと共に、心からの感謝を岡山の皆さんにお伝えしたいと思います。

一年の研修の感想は「光陰矢のごとし」。しかし、生涯忘れることのできない思い出がたくさんできました。岡山は決して大きな都市ではありませんが、多くの外国人が生活し、学び、交流していることが、都市に新たな魅力を添え、国際都市へと岡山を発展させていくのだと思います。

岡山は、自然災害も少なく、過ごしやすい気候であると思います。物産も豊富で、私の好きな桃太郎や夢二も有名、後楽園は、名の由来こそ中国からのものですが、岡山人の崇高な情感が感じられました。また、岡山は歴史的に有名な人物も輩出、育成しており、中国の郭沫若氏も岡山で学ばれています。外国文化を拒絶せず、受入れて更に輝かしい文化へと発展させている都市、岡山。驚いたことに、我々以上に中国文化や歴史に詳しく、中国料理（特に水ぎょうざ）が好きだという人々にも出会いました。このような都市であり、こうした人々がいるからこそ、多くの人が岡山に魅力を感じるのだと思います。

岡山での一番の収穫は、多くの友達ができただけです。岡山で得たものを感じたことを、洛陽に持ち帰り、洛陽市民への贈物としたいと思います。また、私自身も今後も中日交流、両市交流のため貢献していきたいと思っています。

張一民 (研修先：岡山理科大学工学部機械工学科)

忙しく、また楽しかった研修生活も終りに近付こうとしている。

私の専門は、電子顕微鏡を使った材料工学の研究であり、指導教官のお二人は、豊富な経験をお持ちで、細やかなご指導をいただき、多くの先進技術を学ぶことができた。また、大学側には研究環境や設備を十分に整えていただいた。現在、私は一年間の研究について二編の論文をまとめる作業に取り掛かっている。

また、岡山市ならびに市国際課の各位には、生活や日本語学習等の面でご支援・ご配慮をいただき、困ったことや問題が生じても直ぐに対処していただいた。我々は自分の家にいるような親密感の中で生活でき、各位の温



〈岡山理科大学にて研究中の3名〉

かな接遇も深く心に残っている。日本語の指導をいただいた先生方にも大変良くしていただいた。

岡山は大変美しい町で、市民の皆さんも大変親切だと思う。また日本の科学技術は先進的で、日本人は大変勤勉な民族であることも深く感じた。こうした日本に対する理解を深めるため、国際課には各地の視察行事をご手配いただき、数々の思い出を作ることができた。

私は、この度の研修の機会を大切に、お世話になった皆様のご期待に添うよう、今後とも努力を続けていくと共に、岡山と洛陽の友好交流のため尽くしたいと思う。

最後に、多くの岡山市民の皆さんが洛陽にお越しになり、中国の文化や人々の人情などに触れ、理解を深めていただけることを心から願う。

姚旭東 (研修先：岡山理科大学工学部電子工学科)

私は、岡山滞在中、岡山理科大学にて電子回路についての研究を行った。この一年という時間は瞬く間に過ぎてしまったが、岡山での生活は深く印象に残っている。

日本はとても美しい国で、岡山も大変美しい都市だと思う。環境も整備されており、文化も盛んである。人々も友好的で、これらの全てが思い出として心に深く刻まれている。

この一年、日本の各地を見て回ったが、地方ごとに特色があった。東京は賑やかで活気に溢れており、世界都市としての気迫のようなものが感じられた。京都は、古い歴史文化が溢れていた。鳥取は小さく静かな都市、さながら世外の楽園のようであったし、広島原爆ドームには、平和の大切さ・貴さを深く考えさせられた。

岡山市は物産が豊富で、気候も過ごしやすい。備前焼・白桃なども大変有名。文化行事も多彩で、西大寺裸祭や桜祭など、日本独特の風情があった。

毎月友好交流サロンで行われていた『日本文化紹介講座』も深く印象に残っている。日本語講座には、各国の人々が参加しており、賑やかで楽しいものだった。

一年の研修はここで修了するが、帰国してからも両市の友好交流のため努力を続けていきたいと思う。